

横浜港新本牧ふ頭地区公有水面埋立事業

方法書説明会の開催状況、質疑、意見の概要及び事業者の見解

平成 29 年 11 月

国土交通省関東地方整備局
横 浜 市

この資料は、審査会用に作成したものです。審議の過程で変更される可能性があるため、取り扱いにご注意願います。

1. 方法書説明会の開催状況、質疑、意見の概要及び事業者の見解

1-1. 方法書説明会の開催状況

方法書説明会は、表 1に示す日時で計3回開催し、環境影響評価方法書の概要を参加者に説明しました。

表 1 方法書説明会の開催結果

回	開催日時	会場	参加人数
第1回	平成29年11月12日(日) 14:00~15:00	横浜市立大鳥中学校 (神奈川県横浜市中区本牧原 22-1)	14名
第2回	平成29年11月15日(水) 14:00~15:00	横浜市新山下地域ケアプラザ (神奈川県横浜市中区新山下 3-15-5)	18名
第3回	平成29年11月15日(水) 19:00~20:00		6名
合計			38名

1-2. 方法書説明会における質疑、意見の概要及び事業者の見解

各開催日の意見の概要と事業者の見解は、表 2～表 4に示すとおりです。

表 2 方法書説明会（第 1 回：大鳥中学校）における意見の概要及び事業者の見解

項目	説明会における意見の概要	事業者の見解
事業計画	工事の着工時期を教えてください。	環境影響評価手続きや公有水面埋立免許の取得に概ね 2 年から 3 年の期間が必要となります。その後、速やかに工事着工したいと考えています。
	埋立てが終わった後の土地利用計画を教えてください。	水深-18m の大水深・高規格コンテナターミナルと高度な流通加工機能を持つロジスティクス施設を配置した物流拠点形成する計画です。
	岸壁水深を-18m で計画していますが、今後、さらなる大型化が進み、水深不足となりませんか。	現在考えられる最大水深での整備を予定しています。
	航路上での調査など、一般船舶の航行に支障をきたすおそれがありますか。	航路には大きな支障を与えません。海上保安部等とも調整の上、調査を行ってまいります。
	事業実施区域での漁労が難しくなると考えます。また、水質や潮流も変化すると考えますが、漁業者への説明はあるのでしょうか。	水質や潮流への影響も評価します。また、漁業組合を通じて、漁業者の方にもご説明していく予定です。
	事業実施区域付近は水深が深いですが、地盤のかさ上げを行うのでしょうか。	地盤改良後、マウンドを造成し、ケーソンを据えるなどの工事を行います。詳細な構造については、今後検討してまいります。
人と自然との触れ合いの活動の場	横浜港シンボルタワーやその周辺の緑地公園はどうなるのでしょうか。	横浜港シンボルタワーやその周辺の緑地公園の配置計画については、今後検討してまいります。

方法書説明会での質疑・回答のうち、方法書の内容に関連があるものを掲載しました。

表 3 方法書説明会（第 2 回：新山下地域ケアプラザ）における意見の概要及び事業者の見解

項目	説明会における意見の概要	事業者の見解
事業計画	事業期間が 20 年となっています。本牧ふ頭は 7 年ほどで造成しており、もっと早く埋立てが完了するのでしょうか。	現在埋立てを行っている南本牧ふ頭の実績を踏まえて、概ね 20 年程度と想定しています。
	みなと病院付近の交差点を大型車両が通行することがあるため、この工事を行う際はご配慮願いたい。	別途、臨港幹線道路を計画しており、物流交通の市街地への流入抑制を図りたいと考えています。
	海外諸港に対抗するため、50 年スパンの長期的な計画をして、整備してほしい。	海運動向等を踏まえ、新本牧ふ頭は南本牧ふ頭 MC-3、MC-4 と同様、水深-18m の大水深・高規格コンテナターミナルを計画しています。
	工事の着工時期を教えてください。	環境影響評価手続きや公有水面埋立免許の取得に概ね 2 年から 3 年の期間が必要となります。その後、速やかに工事着工したいと考えています。
人と自然との触れ合いの活動の場	横浜港シンボルタワーは撤去するのでしょうか。	横浜港シンボルタワーの配置計画については、今後検討してまいります。

方法書説明会での質疑・回答のうち、方法書の内容に関連があるものを掲載しました。

表 4 方法書説明会（第3回：新山下地域ケアプラザ）における意見の概要及び事業者の見解

項目	説明会における意見の概要	事業者の見解
事業計画	工事の着工時期を教えてください。	環境影響評価手続きや公有水面埋立免許の取得に概ね2年から3年の期間が必要となります。その後、速やかに工事着工したいと考えています。
人と自然との 触れ合いの活 動の場	横浜港シンボルタワーやその周辺の緑地公園は、どうなるのでしょうか。	横浜港シンボルタワーやその周辺の緑地公園の配置計画については、今後検討してまいります。
	本牧海釣り施設は、どうなるのでしょうか。	本牧海釣り施設は直接改変しない計画としています。

方法書説明会での質疑・回答のうち、方法書の内容に関連があるものを掲載しました。